

ふかめる

仕事ずかん

カプセルトイ企画開発

バンダイ
バンダイ事業部
企画・開発チーム



秋葉えりかさん(30)

カプセルトイの企画書を作る秋葉さん（東京都台東区で）



ある一日

- 9:00 出勤。メールをチェック
- 午前中 工場から送られてきたサンプルをチェック
- 12:00 昼食
- 13:00 生産協力メーカーと新商品について打ち合わせ
- 15:00 キャラクターの権利を持っている会社に新商品の資料を提出
- 16:00 デザイナーと打ち合わせ。新商品を考える
- 19:00 退勤



▲秋葉さんが考えたカプセルトイの商品
©2024 SANRIO CO., LTD APPROVAL NO. L645271

◀バンダイのカプセルトイ「ガシャポン」の自動販売機と秋葉さん

ハンドル回したくなる商品を

お金を入れてハンドルを回すと、カプセルに入った商品が出てくるカプセルトイ。秋葉さんはバンダイのカプセルトイ「ガシャポン」の企画開発を担当しています。サンリオのキャラクターをいかした商品作りに取り組み、フィギュア、光るプレスレット、コースター、キーホルダーなど、さまざまな商品を生み出してきました。

「（開発が）進行中のアイテムも抱えながら、常に新しいことを考えています」と秋葉さん。日々、SNSや売り場をチェックし、商品のアイデアを出します。カプセルトイは、何が出るかわからないワクワク感やハンドルを回す楽しさがあります。「どんなものだったらほしいと思ってもらえるか、キャラクターを最大限に魅力的に見せるにはどうすればいいか気を付けています」会議までに企画書を作り、工場から費用の見

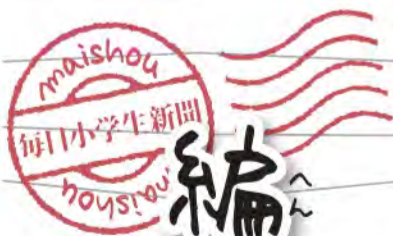
積もりをとります。アイデアが採用されることもあれば、「流行と発売のタイミングを合わせるのが難しい」「採算が合わない」などの理由で採用されないこともあります。

採用されれば、キャラクターの権利を持つ会社から商品化の許諾をとります。フィギュアの場合、原型師と原型を作製し、工場ですampleを作ってもらいます。サンプルを見て、色が正しく塗られているかや傷がないかをチェックします。商品でけがをしないよう、熱などで形が変化しないか、落として壊れないか、安全性も確かめます。

「みんなが喜んでいるのを見たり、自分がかわいいと思ったものが一枚の企画書から形になったりするの楽しい」とやりがいを話します。「尊敬している先輩と並ぶようなヒット商品を作りたいです」と目標を語りました。【篠口純子】

この仕事につくには

発売日に間に合わせるためのスケジュール管理、多くの人とやりとりするコミュニケーション能力、企画を説明するプレゼンテーション能力が求められます。「勉強だけでなく、いろいろな体験が役立つ」と言います。



編集部 だより

初詣じゃなくて巡礼!?

今年のお正月は、ちょっと驚くことがあった。早朝、東京都新宿区の自宅近くにある須賀神社へ初詣に行った時のこと。南アメリカからの訪日客っぽいカップルが、石段で記念写真を撮っていたんだ。その後ろには、中国語を話すカップルが2組も撮影の順番を待っていた。須賀神社という言葉に反応した君には、もうお分かりだね。そう。世界的に大ヒットしたアニメ映画「君の名は。」のラストシーンに登場する石段なんだ。ファンにとっては聖地だから、2016年夏の映画公開直後には連日のように訪れる人がいたらしい。それにしても正月の早朝だよ。聖地巡礼への情熱ってすごいね。



アニメ映画「君の名は。」は教科書にも載るほど有名なね

伊藤一博
担当 ゆり先生の化石研究室、Z会ナビ、Newsの窓
趣味 古書・中古レコード収集、コンテンポラリーダンス鑑賞

